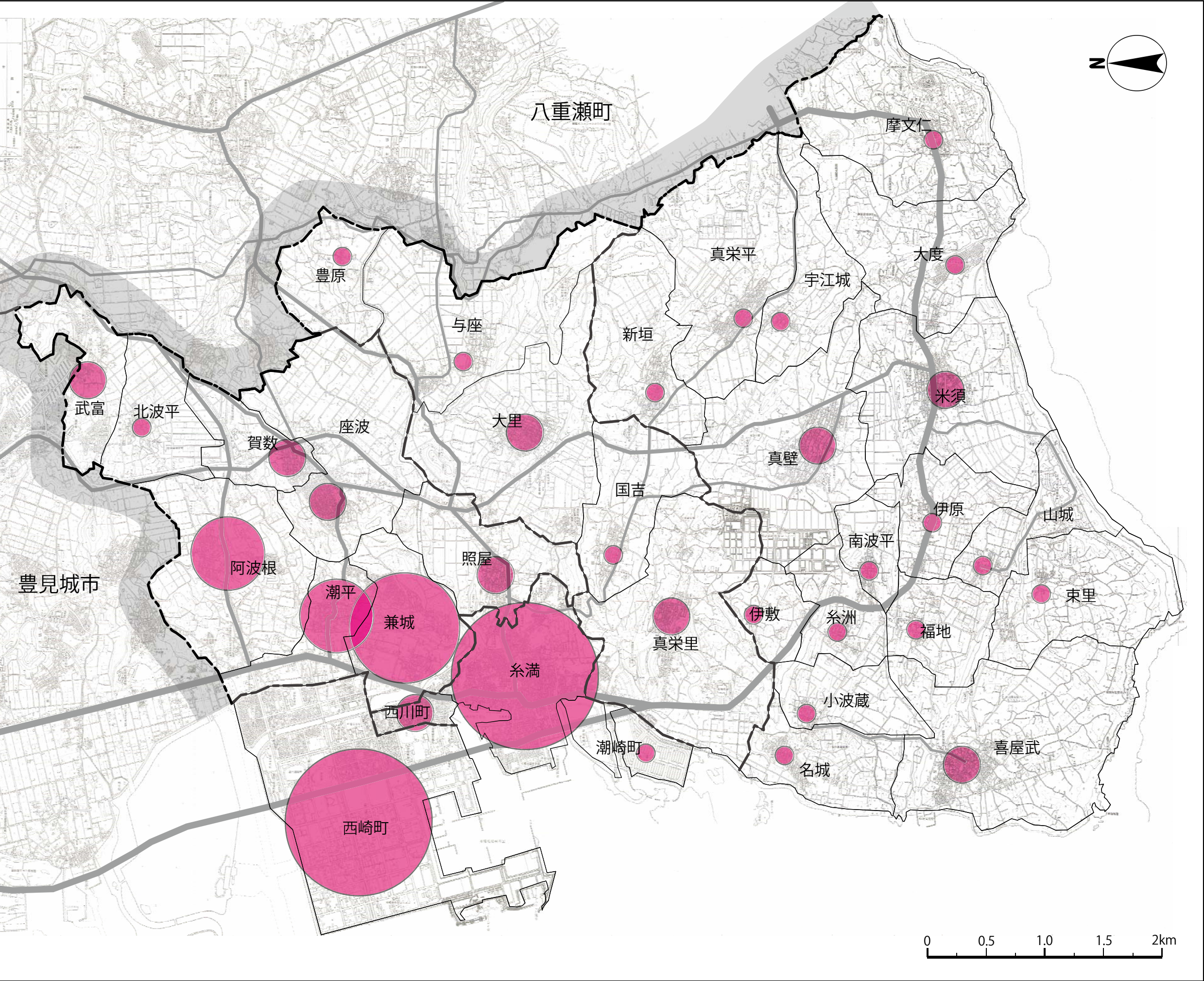
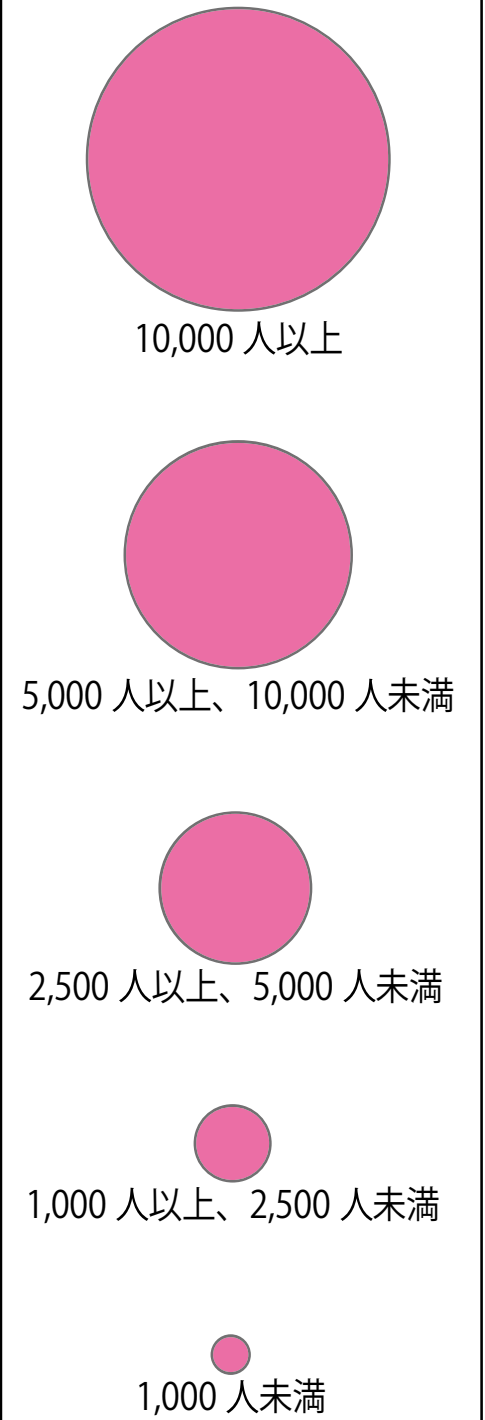


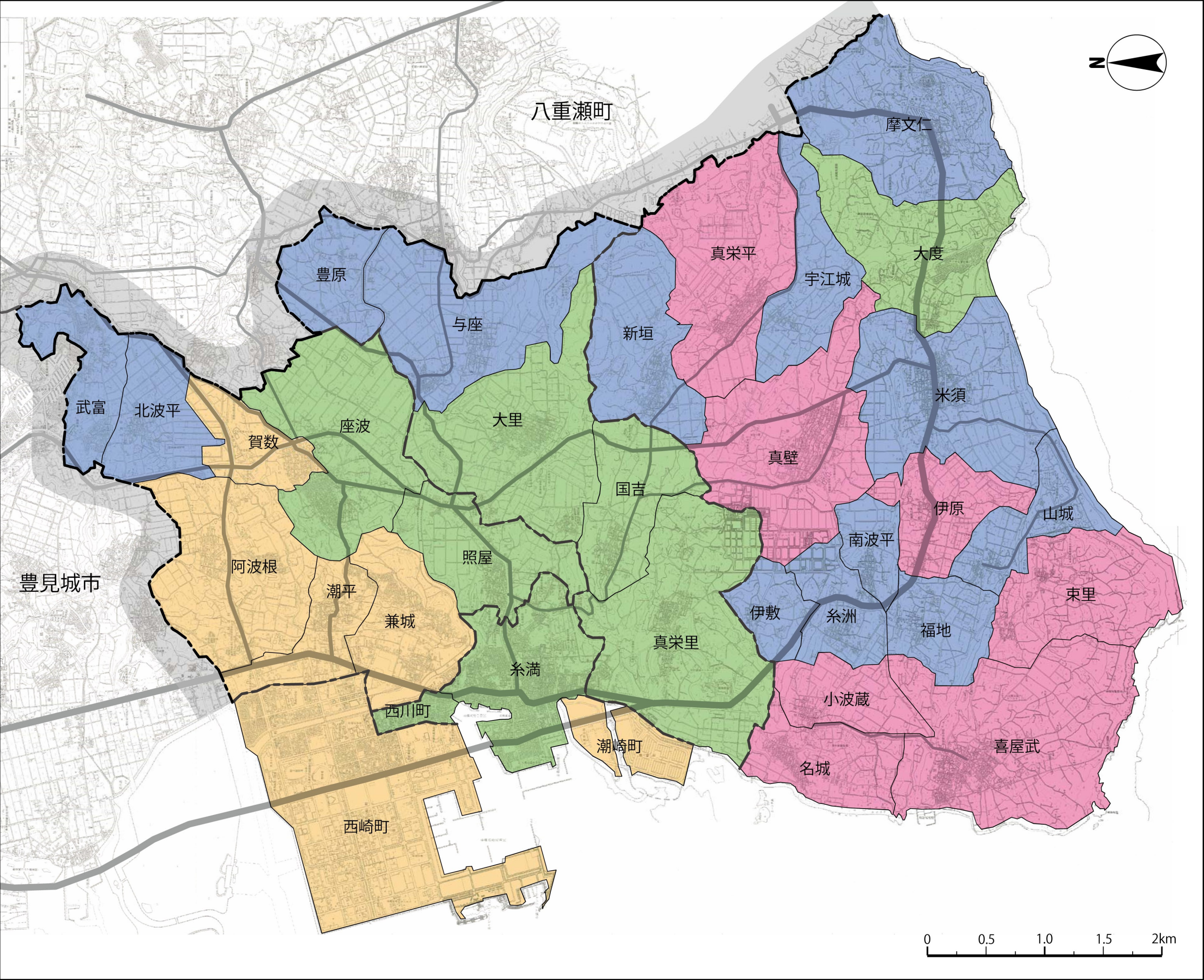


人口規模
(平成 24 年)

INDEX

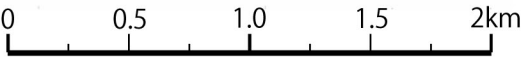
人口規模

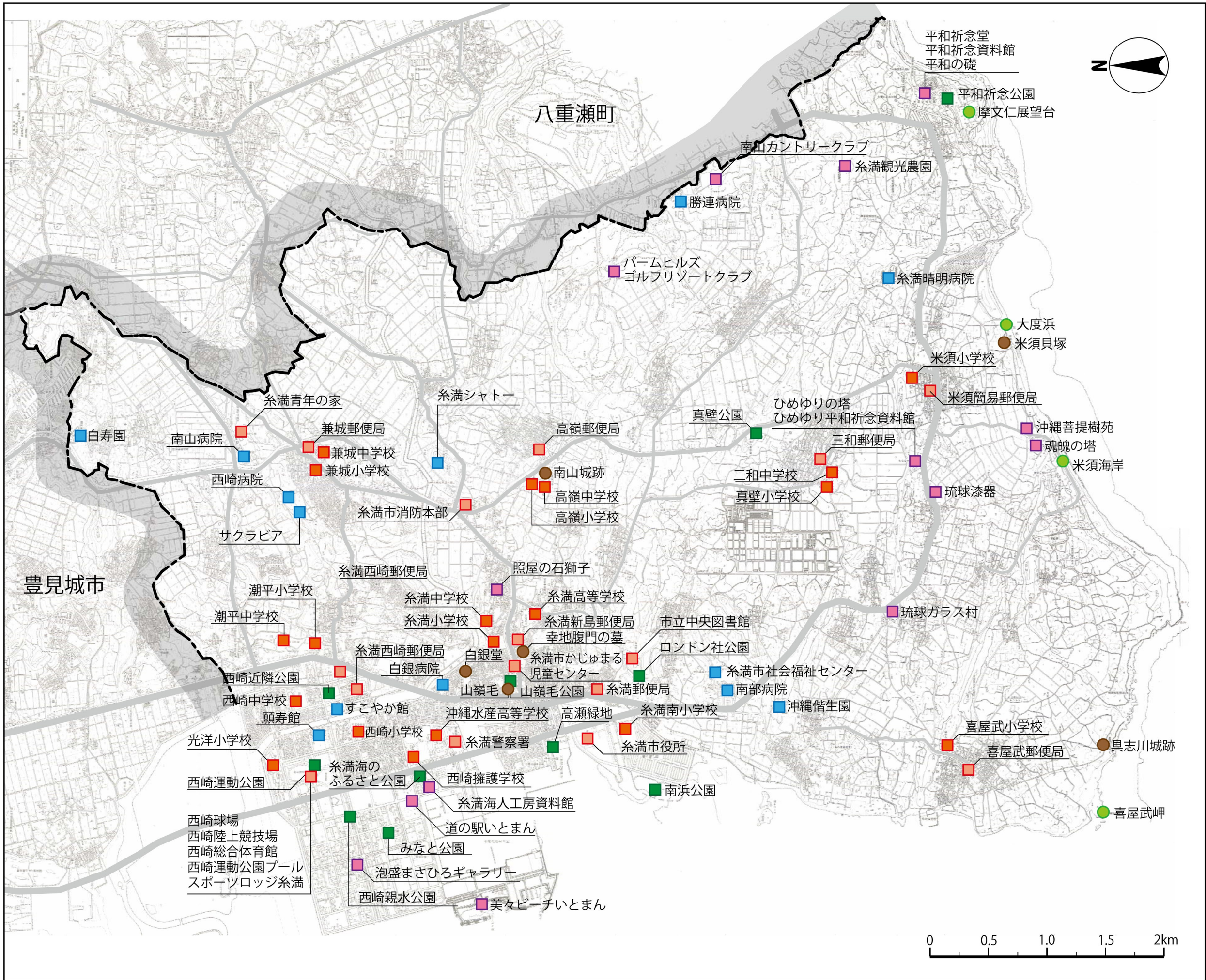




高齢化率
(平成 24 年)

INDEX	
高齢化率	
	7%未満
	7%以上 14%未満
	14%以上 21%未満
	21%以上 28% 未満
	28%以上



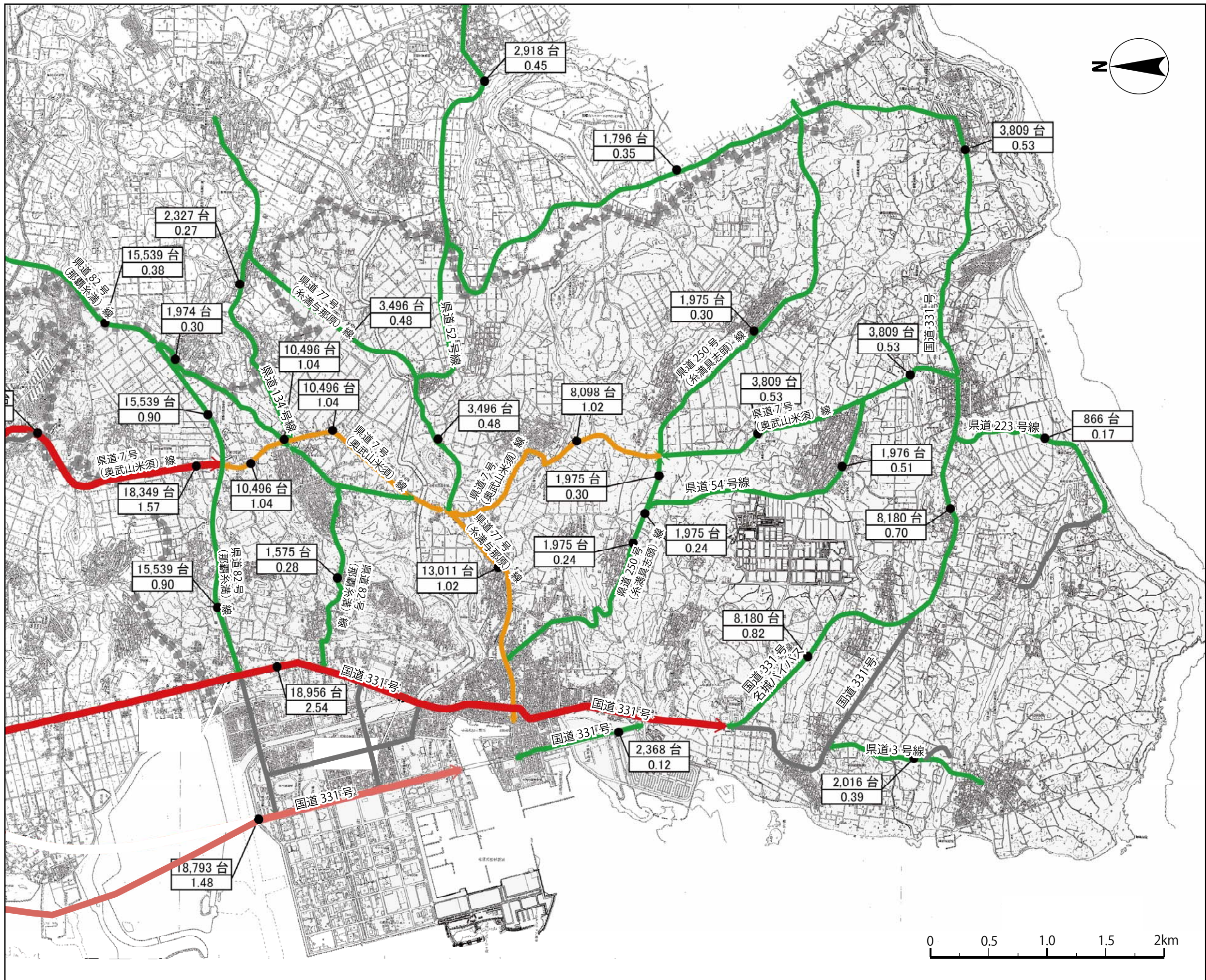


主要施設位置図

INDEX

主要施設

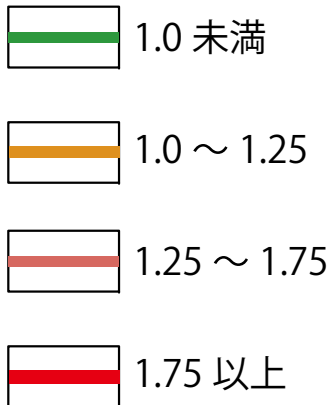
- 公共施設
- 教育施設
- 公園・緑地
- 史跡・文化施設
- 景観・景勝地
- 観光施設
- 病院・福祉施設



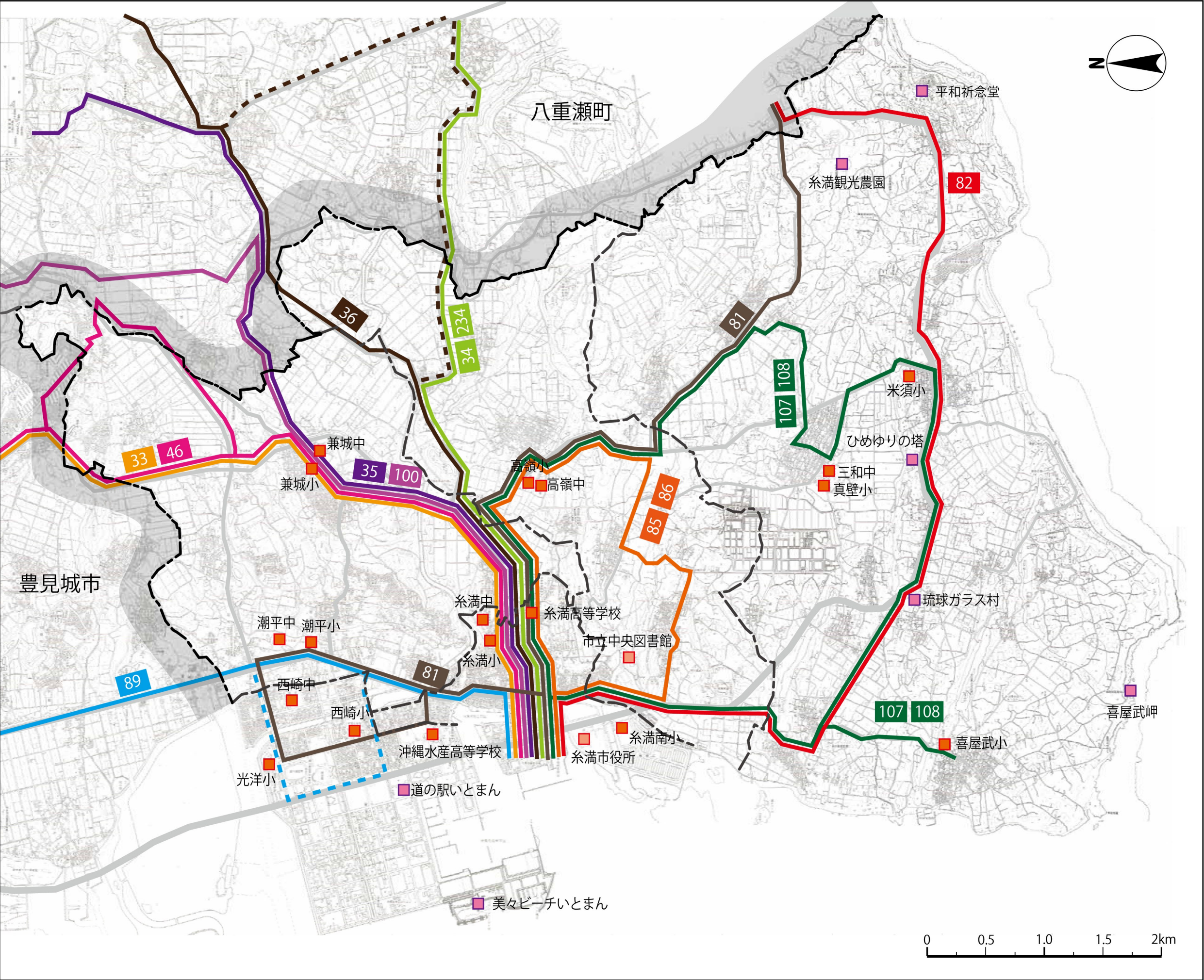
交通量及び混雑度 (平成 22 年)

INDEX

混雑度



- 混雑度 1.0 未満
昼間 12 時間を通して道路が混雑することなく円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
- 混雑度 1.0 ~ 1.25
昼間 12 時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間帯が 1 ~ 2 時間 (ピーク時) ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
- 混雑度 1.25 ~ 1.75
ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状況。ピーク時のみの混雑度から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。
- 混雑度 1.75 以上
慢性的な混雑状態を呈する。



バス路線状況図

INDEX

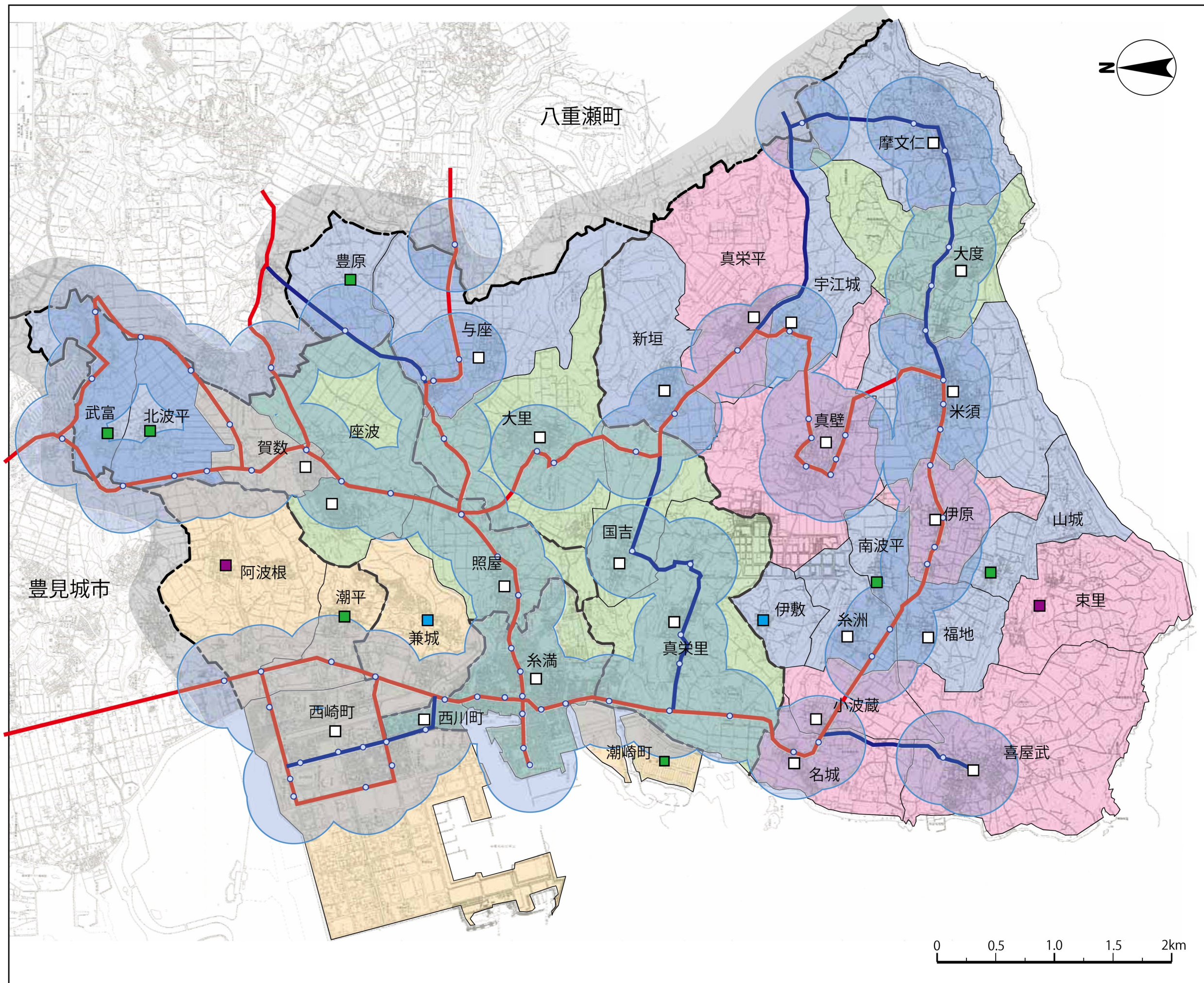
凡 例		
33	糸満西原線	—
34	糸満（東風平）線	—
234	糸満（東風平おもろまち）線	—
35	糸満（志多伯）線	—
235	糸満（志多伯おもろまち）線	—
36	糸満新里線	—
46	糸満西原線（保栄茂廻り）	—
	糸満西原線（団地廻り）	
81	西崎・向陽高校線	—
82	玉泉洞糸満線	—
85	国吉（大里廻り）線	—
86	国吉（真栄里廻り）線	—
89	糸満（西高校）線	—
	糸満（西高校・西崎）線	
	糸満（航空隊）線	
	糸満（航空・西崎・市役所）線	
100	白川線	—
200	白川（糸満おもろまち）線	—
107	南部循環線（真壁・喜屋武廻り）	—
108	南部循環線（喜屋武・真壁廻り）	

主要施設

公共施設

教育施設

観光施設



公共交通 不便地区の状況

INDEX

バス路線

	1 日当り 15 本以上 のバス路線
	1 日当り 15 本未満 のバス路線

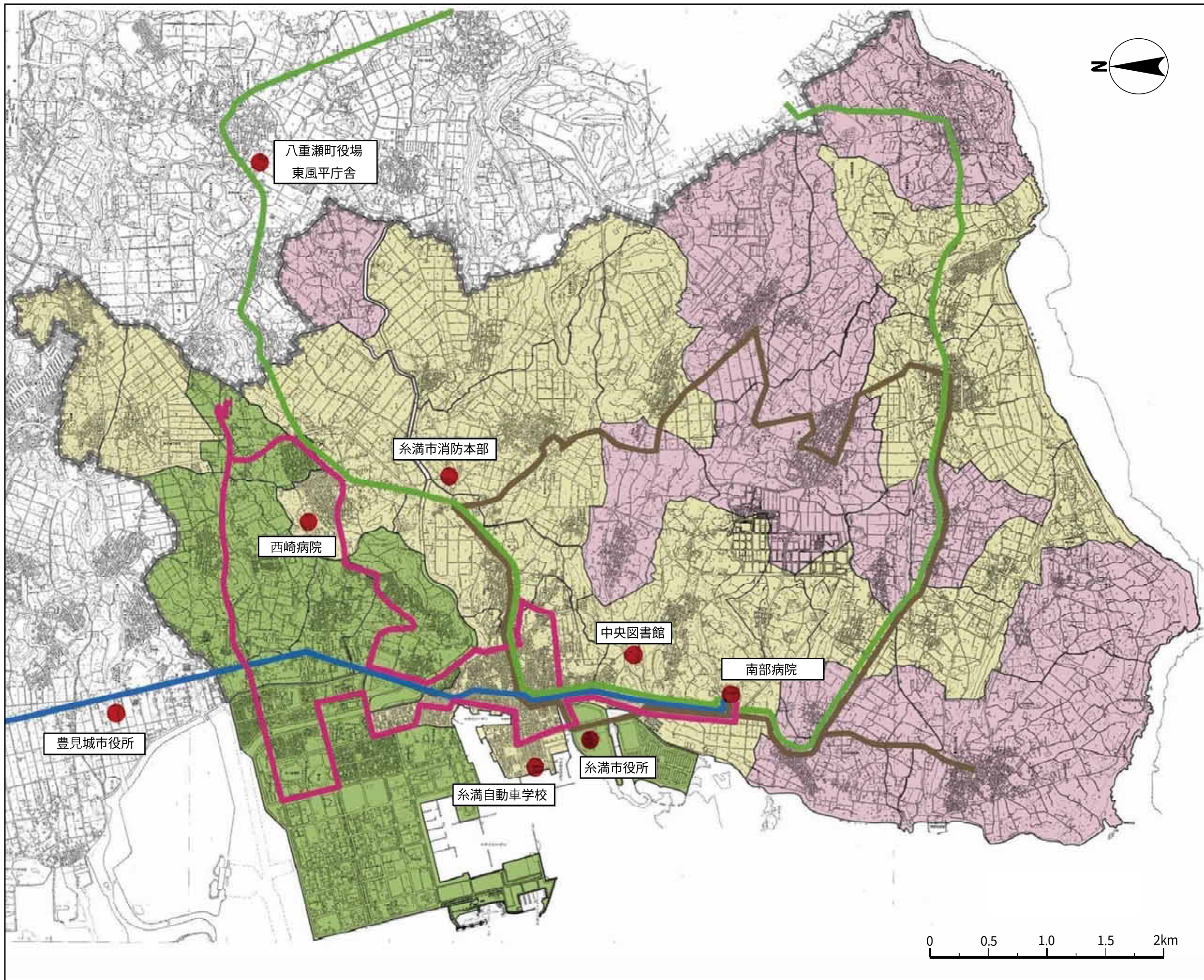
バス停と集落中心の距離

	400m未満
	400m以上 600m未満
	600m以上 800m未満
	800m以上 1,000m未満
	1,000m以上

バス停から
半径 400m圏

高齢化率

	7%未満
	7%以上 14%未満
	14%以上 21%未満
	21%以上 28% 未満
	28%以上

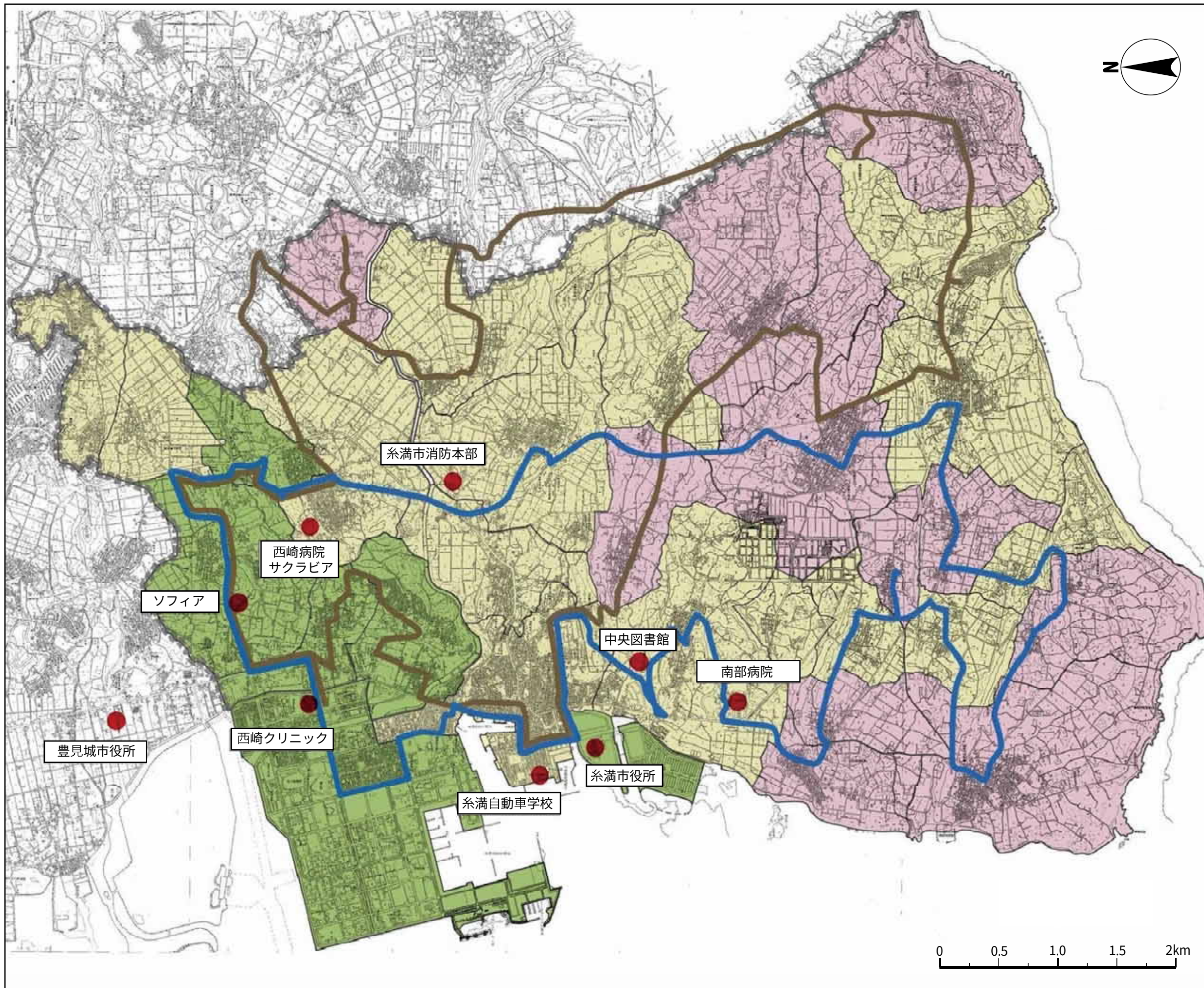


民間送迎バス運行状況図 (南部病院)

INDEX

運行コース

- 1 コース (豊見城線)
- 2 コース (糸満南部線)
- 3 コース (具志頭線)
- 4 コース (西崎線)

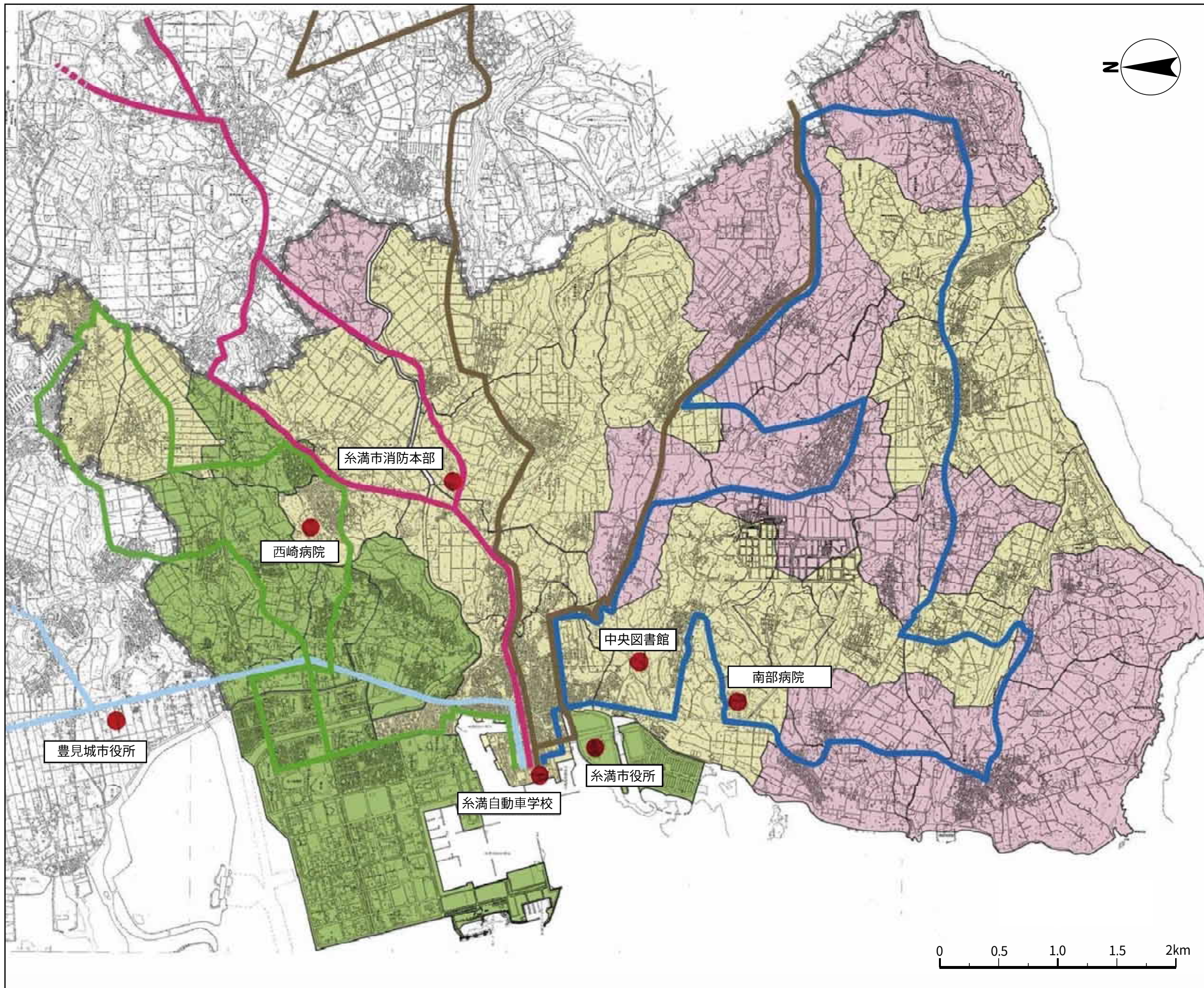


民間送迎バス運行状況図
(西崎病院)

INDEX

運行コース

	1コース (市内巡回線 A)
	2コース (市内巡回線 B)



民間送迎バス運行状況図
(糸満自動車学校)

INDEX

- 運行コース
- 1 コース
(喜屋武米須方面)
 - 2 コース
(具志頭方面)
 - 3 コース
(西崎・豊見城団地方面)
 - 4 コース
(東風平方面)
 - 5 コース
(小禄方面)

整備方針図

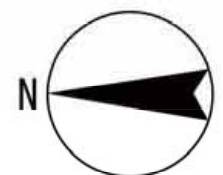
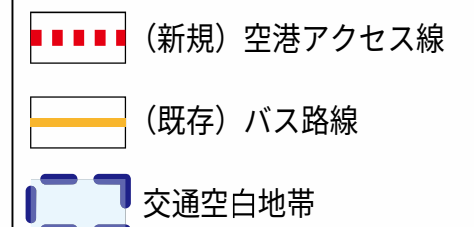
凡 例

高齢化率



平成 24 年 3 月末現在の年齢別人口による高齢者率

公共交通



(仮称) 糸満市公共交通活性化会議の設置

住民の移動手段である公共交通を維持するため、事業者と行政だけではなく、利用者の住民、地域の企業等が連携し、地域の実情に合致した公共交通を上げる継続的な会議の場として(仮称)糸満市公共交通活性化会議の設置

見直し基準の設定

低利用の状態が続く路線については、地域全体の効率的輸送の観点から見直しの目安となる基準を設定。

交通不便地域等における移動手段の確保

地域が主体となって、交通事業者・行政等が相互に連携。地域特性に応じた運行形態を工夫をした地域公共交通サービスの導入。

地区拠点の整備

空港へのアクセス整備

沖縄県総合交通体系基本計画に基づき、観光客の玄関口である那覇空港から、道の駅等の観光拠点を経由し糸満市内を結ぶバス路線を整備。南部の観光資源との連絡強化とともに、糸満市を宿泊拠点とする観光をサポート。

地区拠点の整備

乗換拠点の整備

交通不便地域等における移動手段の確保

地域が主体となって、交通事業者・行政等が相互に連携。地域特性に応じた運行形態を工夫をした地域公共交通サービスの導入。

美々ビーチいとまん